

平成26年11月20日

保護者様

光市立周防小学校
校長 福永 雅代

平成26年度前期教育活動に関するアンケートの集計結果について

深秋の候、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、9月に実施しました周防小学校の前期の教育活動に関するアンケートにご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

今年度も学校教育目標「意欲的に学び、共によりよく生きる子どもの育成」の重点目標について、児童・保護者・教職員がほぼ同じ項目でアンケートを実施しました。保護者の皆様には、どの取組についても、おおむね目標を達成できているとの評価をいただき、ありがとうございます。

つきましては、集計結果と集計結果に基づき、今後さらに学校と家庭が連携して取り組んでいきたい事項をお知らせしますので、一層のご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

1 元気な心・体は正しい生活習慣から

アンケート結果では、「早ね早おき朝ごはん」の習慣化について、児童は**91%**、保護者**84%**が「身につけている」と回答いただきました。今後とも、「早ね・早おき・朝ごはんパスポート」等でしっかり子どもたちの生活習慣の形成に努めていきたいと思っております。ご協力をお願いいたします。

また、定期健康診断結果による受診・治療について、受診率は**歯53%**、**目35%**、**耳62%**となっています。子どもたちの健康づくりのため、慢性化したり症状が悪化したりする前に早めの受診・治療をお願いいたします。



2 しっかりつけよう 家庭での読書・自主勉強習慣

読書の目標累積ページ（前期）1000ページの達成状況は**99%**です。子どもたちは、学校での読書活動はとてがんばっています。一方、家庭での読書の様子をきいてみると、「よく読書をしている」とお答えいただいた保護者が**59%**、子どもが**69%**でした。また、「進んで自主勉強している」が、保護者**36%**、子ども**81%**でした。これからも、学校や家庭での読書習慣を身につける取組を継続していきます。また、自主勉強の方法も具体例を示しながら指導していきます。特に、算数の学習では予習を奨励しています。自主勉強の仕方などご不明な点は、気軽に担任にお尋ねください。小学生の間の家庭での学習習慣の形成は、今後の学習にもつながる大切なことです。

一方、本校の子どもたちは、テレビやゲームに費やす時間が長いことが課題になっています。ご家庭でもテレビやゲームの時間の見直しやルールづくりなど、子どもたちが読書に親しんだり、落ち着いて学習に取り組んだりできるような環境づくりや働きかけをお願いいたします。



3 相手に聞こえる大きなあいさつ・返事のできる子に

「あいさつを自分から進んでしている」と回答した子どもは**90%**、保護者**75%**でした。大きな声であいさつができる子どもが増えています。一方、地域の方から声を掛けられてもあいさつや返事ができない子ども残念ながら見かけられます。大人が手本となり、相手に聞こえる大きな声で元気なあいさつができる子どもを育てていきましょう。社会に出て必要なコミュニケーション力の第一歩はあいさつです。

また、「大人に対して敬語を遣うなど、相手に応じた言葉遣いをしている」**72%**、「相手のことを考えた言葉遣いをしている」**74%**と保護者の方に回答していただいています。相手や時と場に応じた言葉遣いができることや相手の嫌がることを言わないことは、引き続き子どもたちに身に付けさせていくこととして、学校でも取り組んで参ります。ご家庭でも折に触れ、ご指導していただけたらと思います。

